

新潟市2017年度予算案に対する見解

2017年2月14日 日本共産党新潟市議会議員団

2017年2月14日に新潟市が発表した2017年度当初予算は、対前年度比382億円の増（プラス10.6パーセント）となる3975億円となりました。しかし、ここには権限委譲に伴い県費負担教職員関係費が含まれており、これを除けば対前年度比18億円の増（プラス0.6パーセント）となっています。

民生費は「子育て支援の充実のほか、地域包括ケアシステムなど健康寿命延伸に向けた取り組みを推進」とし、対前年度比プラス24億円（プラス2.1パーセント）、普通建設事業費は「2016年度の大規模補正予算（144億円）と一体的に、新潟市の拠点化に資する事業や、公共施設などの長寿命化を計画的に推進」とし、対前年度比マイナス28億円（マイナス6.2パーセント）としています。

（1）日本共産党新潟市議団はこの間、全国20の政令指定都市の中で最下位レベルにある民生費割合を高めるよう求めてきました。それはとりもなおさず、2度にわたって行われた高齢者や所得の少ない人をねらい撃ちにした福祉施策切り捨ての「事業仕分け」の方向を転換して、削減された施策の復活・拡充、高すぎる国民健康保険料や介護保険料を軽減するための一般会計からの繰り入れなど、くらし・福祉を充実させる具体的施策の実施を求めてのものでした。

民生費割合は新年度予算では、29.3パーセントと前年度の31.8パーセントから減少しましたが、これは権限委譲による県費負担教職員関係費が393億円あり歳出合計が増嵩したことが原因でした。

この部分を差し引いて計算すると、民生費割合は32.2パーセントであり、前年度の31.8パーセントとほぼ同様であり、最下位レベルに変わりはなく、一方土木費も同様に計算すると15.8パーセントと前年度の15.9パーセントと同様であり、土木費トップクラスに変わりはありません。

土木費の新潟駅周辺地区の整備に62億6千万円、新潟中央環状道路に44億6千万円、万代島ルート線などの直轄事業負担金に14億8千万円などの大型開発事業の合計122億円が民生費割合を押し下げる要因となっていることは明らかです。

（2）人口減少をくいとめるうえでも、地域経済を活性化させるうえでも、雇用の創出と改善は不可欠の課題です。

「雇用が生まれ活力があふれる拠点」を標ぼうするものの、具体的施策は乏しいものです。

「本市の農業の最も大きな特徴は、日本一を誇る水田耕地面積とコシヒカリです」と「新潟市農業構想」に示されているものの、農業施策は従来と変わらないものです。農業特区の取り組みに力を入れている反面、生産目標数量廃止で不安を抱える多くの農家に対して展望が示されていません。新潟市経済における農業の重要性をふまえ、抜本的な対策が必要です。

本市として、公契約条例を制定することや、非正規職員の賃金を抜本的に改善し購買力を高め地域経済に貢献すること、少子化に歯止めをかけること、雇用の改善で活力を取り戻すことが急務であり、「水と土の芸術祭2018」の開催準備などに力をいれるときではありません。

(3) BRTの「新たな交通システムの導入」の事業費に3146万円が計上されました。

「駅南北の一体的なバス交通の構築に向けた検討」「青山拠点機能向上策の検討」とのことですが、新年度に連節バスをさらに4台購入することや専用走路の設置が見送られたことは、市民の批判の高まりを恐れてのものにほかなりません。いさぎよく、2019年度までに第1期完成としていた計画はやめ、「生活交通の確保維持・強化」にこそ抜本的に力をいれるべきです。

(4) 新潟駅周辺地区整備に62億6千万円、新潟中央環状道路に44億6千万円、万代島ルート線などの直轄事業負担金に14億8千万円など大型開発事業の合計は122億円です。

2016年度予算では新潟駅周辺地区整備が75億円、新潟中央環状道路が46億円、直轄事業負担金が14億円の合計135億円でした。しかし、2016年11月の補正で、新潟駅が47億円、中央環状道路が4億7千万円、直轄事業負担金は2月補正で2億4千万円の合計54億円をあわせれば2017年度は実質で176億円ともなり、前年度当初をはるかに上回るものとなります。

新潟駅周辺地区整備は、これから多額の事業費をかける万代広場の整備がはじまります。この計画を大幅に見直し事業費の圧縮に努めるべきです。

(5) こうしたなかで、わが党や関係団体が求めてきた、高齢世帯も対象に拡充された「子育て・健康長寿のための健幸すまいるフォーム支援」、「子ども貧困対策推進計画策定」の費用が計上されたことや、市の臨時職員や臨時保育士、図書館司書、学童保育支援員・補助員等の時給がアップしたこと、県費負担教

職員の権限移譲に伴い、少人数学級が小学校3・4年生まで拡充されたことは前進です。